

JACET-Kansai Newsletter

No.25 2004年9月15日発行

支部長: 岡田 伸夫

JACET-Kansai 事務局: 〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6 京都外国語大学

相川真佐夫研究室内 Tel: 075-322-6079 Fax: 075-322-6245 E-mail: aikawa@nnc.or.jp

URL: <http://www.ryukoku.seikyoku.ne.jp/home/87858/>

振込口座: 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部

英語教員の英語力

支部長 岡田伸夫

「英語が使える日本人」の育成のための行動計画(平成15年3月発表)に基づく事業が始まって二年目の今年の夏も、多くの中学・高校英語教員の方が、コミュニケーション能力の育成を図る授業を行うことのできる英語力及び教授力を身につけるために、各地で熱心に研修を受けられたことでしょう。

この研修では講師も受講者も英語を使うことになっています。「英語が使える日本人」の育成のための行動計画の中には「英語の授業の大半は英語を用いて行い、生徒や学生が英語でコミュニケーションを行う活動を多く取り入れる」と書かれています。また、平成13年1月に発表された「英語指導方法等改善の推進に関する懇談会」(座長・中嶋嶺雄前東京外国語大学長)の報告には「教員が英語で授業を行うことは、生徒・学生に好影響を及ぼすので、一層推進すべきである」と書かれています。一昔前なら、「日本で日本人同士がコミュニケーションするのに英語を使うのは照れくさい」「日本語のほうで言いたいことが的確に表現できるのでどうしてわざわざ英語を使うのか」といった否定的な反応が出てきたかもしれません。しかし、英語のオーラル・コミュニケーション能力を育成するには、英語をオーラル・コミュニケーションの手段として使用する活動を積み重ねることが不可欠です。英語を使って授業を行うことの意義は、現場の英語教員の間に十分に浸透しているように思われます。

「英語が使える日本人」の育成のための行動計画では、英語教員の英語力の目標値を英検準1級、TOEFL550点、TOEIC730点としています。財団法人ビジネスコミュニケーション協会の調査によると、2005年度に行われる公立中学・高校の英語教員採用試験で TOEIC の結果を活用する自治体は、全国の都道府県と政令指定都市の90%に上るそうです(2004年7月23日『京都新聞』夕刊)。TOEIC で基準点を超える点を得た受験者を優遇するのは54自治体で、そのうちの約半数は試験の一部を免除するとしているそうです。

基準点は、北海道や三重県、熊本県などのように730点以上とするところ、名古屋市や栃木県、群馬県のように900点以上とするところなど、多少ばらつきがあります。ちなみに京都府は860点以上、滋賀県は780点以上です。TOEIC 高得点者を英語教員に採用することは、「英語が使える日本人」の育成のための行動計画で示された英語教員の英語力の目標値を達成する賢明な方法と言えるでしょう。TOEIC730点以上の英語力があればいい英語教員になれるというわけではありま

せんが、だからといって英語力がなくていいことにはなりません。高度な英語運用能力は英語教員の必要条件の一つと見なすべきでしょう。

7月18日の『朝日新聞』に「理科の先生、社会の授業」というタイトルで、免許外教科担任のことが出ていました。千葉県の子どもの「千葉市立の中学校に通う娘が『社会科の授業が耐えられない』」と言い出した。事情を聴くと、社会科の授業をしているのが理科の先生だという。学校側は『生徒数が減って社会科の先生が1人しかいないので、理科の先生に社会科をお願いした』と説明した。こんなことが起こるなんて、納得できない。もう、公立中学ではまともな教育は受けられないということなのだろうか。」という投稿をもとにして取材し、まとめた記事です。今、英語を小学校の教科にすると、今まで英語に縁がなかった教員が英語を教えるケースが各地で出てくるでしょう。その問題の解法を今のうちに十分に考えておく必要があります。

2004年度関西支部春季大会ご報告

6月5日に流通科学大学で開催されました関西支部春季大会には、140名を超える参加者がありました。大会に各種ご尽力下さいました皆様にお礼申し上げます。

「授業学研究委員会」参加へのご案内

全国の第1回授業学研究委員会が、9月2日中京大学名古屋キャンパスにて開催されました。当委員会は、2年という期限付きの特別委員会として発足した全国組織委員会です。

設立趣旨は会員の力を結集し、高等教育における授業を見直し、その改善を図るというものです。2006年の全国大会には、研究発表と並行して理論編、実践編、授業改善編からなる刊行物の発行を目指しています。

既に5月に参加者を募りましたが、委員会の運営上さらに多くの参加が望まれますので、参加ご希望の方は、担当幹事の

小栗まで9月24日を目処にお知らせ下さい。

第1回支部委員会を下記のとおり開催します。

日時: 2004年9月26日(日) 午前10時~12時

場所: 大阪大学中之島センター

問合せ先: 小栗裕子 yoguri@ice.usp.ac.jp

2005年度支部大会について

来年度の支部大会は、春季大会:2004年6月4日(土)和歌山大学、秋季大会は神戸大学と決定されました(日程未確定)。

2006年度全国大会について

2004年7月3日の運営委員会で2006年度全国大会開催校について審議し、関西外国語大学(中宮)を選考しました。

2004年度秋季大会について

2004年度秋季大会は、10月10日(日)に京都外国語大学で開催されます。ワークショップ2件、研究発表 12件、実践報告1件、さらに「特色ある大学英語教育に向けての実践と課題」と題してシンポジウムが行われます。プログラムとアブストラクト集を同封いたしますので、是非ご参加ください。

懇親会の会費について

会員:事前申し込みの場合

一般会員 3,000円 (4,000円 Beer含む)

学生会員 2,500円 (3,500円 Beer含む)

:当日申し込みの場合

一律 3,500円 (4,500円 Beer含む)

非会員:事前申し込み、当日申し込みとも

一律 3,500円 (4,500円 Beer含む)

今回は、ノンアルコールをご希望の皆さんとアルコール有り(Beerのみ)をご希望の皆さんのそれぞれのご希望にお答えできる形になっております。会員の皆様にはぜひとも事前申し込みをご活用していただきたくお願い申し上げます。申し込み方法は、同封の振込用紙にて御所属と該当金額をご記入いただき、9月末までに郵便局でお振込みください。

懇親会費を事前振込みでご送金いただきましたら、当日料金計3,500円(or4,500円)のところ、送金手数料を含む総額は3,000円(or4,000円)+振込み料70円(同封振込み用紙でのATM振込みの場合60円で3,060円または4,060円)となります。学生会員としてご登録の方は、さらに500円安くなります。

昼食は、キャンパス近隣のレストラン等にて召し上がっていただけます。(会計担当幹事 藤林富郎)

2004年度講演会・シンポジウムおよび夕食会

本年度は、JACET 特別顧問の小池生夫先生をお迎えいたします。案内状を同封いたしますので、是非ご参加ください。また、当日の夕食会にも是非ご参加ください。

日時:10月30日(土) 場所:千里金蘭大学

13:00~14:15

講演「私に関係した英語教育政策35年の表裏」

小池生夫(明海大学)

14:30~17:00 シンポジウム「動き出した英語教育」

パネリスト: 小池生夫(明海大学)

大谷泰照(大阪大学名誉教授)

豊田昌倫(関西外国語大学)

司 会: 岡田伸夫(大阪大学)

参加費(講演・シンポジウム込み、事前申込不要)

会員 500円 非会員 1,000円(学生 500円)

17:30~19:30 夕食会

講師の先生方を囲み、秋の夜長に美味しいイタリア料理とワインで更に“シンポジウム”を続けませんか。

会費: 一律 5,000円 (事前申し込みのみ)

同封の振込用紙にて9月末までにお申し込み下さい。

会場: レストランテ アローラ ☎ 06-6877-8362

(千里金蘭大学より徒歩5分)

2005年度からの新たな研究会の発足について

2005年度から全く新規に研究会を作って活動を開始される予定の方は、2005年1月31日までに JACET 本部に研究会設置申請を行って頂きますようお願い致します。この期限までに設置申請が行われない場合は、2005年度の活動補助費は支給されませんのでご注意ください。

設置申請につきましては、本部の寺内一先生(hajime@takachiho.ac.jp)までお問合せ下さい。尚、支部へのお問合せは、担当幹事の杉森までお願い致します(sugimori@mbox.kyoto-inet.or.jp)。

国際交流委員より

RELC 第40回 International Seminar への JACET 代表

研究発表者ご推薦について

国際交流委員・RELC 担当の山内ひさ子先生(久留米工業大)から、以下のご案内を頂きました。ご推薦がありましたら、関西支部国際交流委員・石川(y_ishikawa@kufs.ac.jp)までご連絡下さい。

「JACET と国際交流協定を結んでいるシンガポールの RELC の第40回 International Seminar で、JACET 代表の研究発表者をご推薦ください。自薦、他薦を問いませんが、オーラル・コミュニケーションを研究されている先生のご推薦をお願いします。推薦の締め切りは10月末日です。RELCの大会での講演や研究発表、ワークショップなど、大変勉強になりますので、個人参加されても大きな収穫があります。個人参加もぜひ多数ご参加ください。よろしく申し上げます。」

テーマ: New Dimensions in the Teaching of Oral Communication

期間: April 18-20, 2005

招待講演者: Christine Goh, Jennifer Jenkins, Andy Kirkpatrick, Nguyen Duc Hoat, Scott Thornbury

詳細: RELC Website: www.relc.org.sg

39th International Annual IATEFL Conference について

国際交流委員・IATEFL 担当の村田久美子先生(早稲田大)から、ご案内を頂いております。締め切りが迫っておりますので、お急ぎ下さい。

Venue: City Hall and the National Museum & Gallery Cardiff, UK
Date: 5-9 April 2005

The deadline for receipt of speaker proposal forms for IATEFL's 2005 Conference is Monday 27th September 2004. All members of IATEFL are invited to offer presentations by completing a Speaker Proposal Form. Proposals may be for talks, workshops, panel discussions, workshops or as a contribution to a symposium.

The conference brings together ELT professionals from around the world to discuss, reflect on and develop their ideas. The conference programme offers many opportunities for professional contact and development-1400 delegates, 300 presentations & 50 exhibitors. To request a Speaker Proposal Form & Guidelines, please visit IATEFL's website at www.iatefl.org or email Linda@iatefl.org